



木型で誘う菓都大津

2023年 1月6日[金]～1月22日[日]

開催会場＝大津市歴史博物館 1階エントランスロビー

開催時間＝9:00～17:00

休館日＝1月10日(火)、16日(月)

入場料＝無料

主催：立命館大学 食マネジメント学部 鎌谷かおる研究室、大津市歴史博物館

後援：立命館大学食マネジメント学部、立命館大学食総合研究センター
立命館大学BKCリサーチオフィス

【本展は12月1日～12月16日に立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催された展示の巡回展です】

本展示は2022年度立命館大学グラスルーツ・イノベーション・プログラム(GRIP)の研究成果の一部です。



「大津の町には京都の如くなる菓子屋数家あり。（中略）日本の饅頭、京都を以て極品第一とす、大津の町の菓子屋これに次げば第二と称すとも苦しかるまじ。」

（意訳：大津の町には、京都と同じように素晴らしい菓子屋が数家あります。日本の饅頭は、京都が1番の極上品だと言われていますが、大津の菓子屋の作るお菓子は、それに次ぐものであると言っても過言ではありません。）

これは、享保8年(1723)に膳所藩の藩士寒川辰清が編纂を開始した地誌『近江輿地志略』の中の一節です。今から300年前に記された書物を通じて、私たちは大津の菓子の評価の高さを知ることができます。

2022年に発足した「菓都大津」再興プロジェクトは、大津の菓子文化の実態を具体的に調査し、次の世代へと繋げていくことを目的に発足した産官学連携プロジェクトです。

今年度は、大津市内の菓子店への聞き取り調査や、地元で受け継がれる菓子作りについて調査を進めています。今回の展示は、その研究成果の第一弾として、調査させていただいた大津市内の菓子店や個人でご所蔵の多様な菓子木型をお借りし、展示を通じて、来場の皆様に「菓都大津」の世界へ誘います。あわせて、今年度の研究活動内容のパネル展示も行います。

展示内容

プロジェクト概要
今年度の調査報告
堅田の菓子文化
など

パネル展示

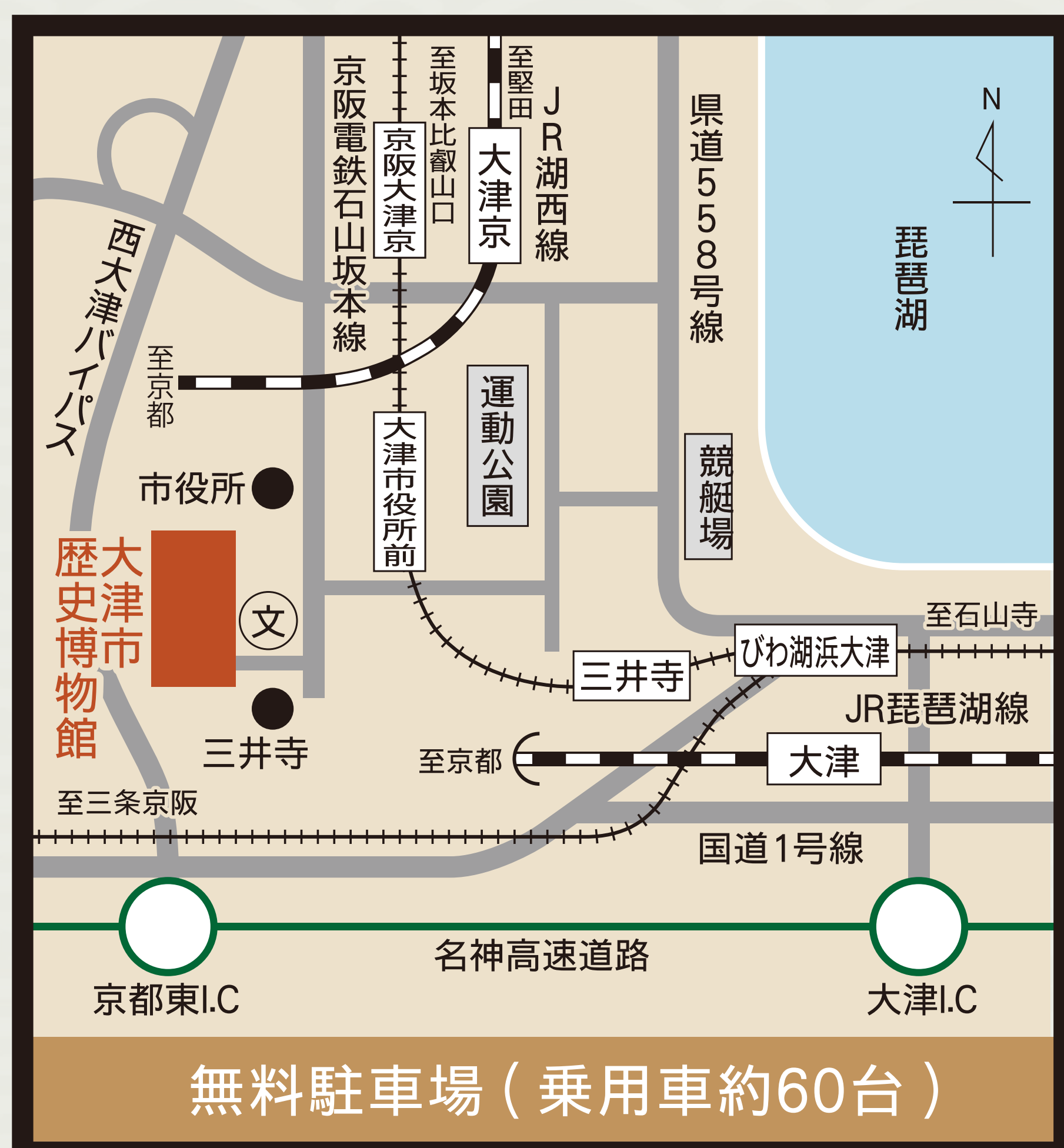


映像展示



木型展示

【交通アクセス】



大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町 2-2

TEL 077-521-2100

<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

京阪電鉄石山坂本線「大津市役所前」駅より徒歩約5分

JR 湖西線「大津京駅」より徒歩約15分

無料駐車場（乗用車約60台）